ひと ひと
女と男の情報紙

HIMAWARI
Women & Men Information

ひまわり

Vol.24
2017.9.1

特集

男女共同参画社会の実現に向けて

熊谷市男女共同参画推進センター
「ハートピア」ってどんなとこ？



刺繍「ひまわり」
辻葩（つじはな）　千代子さん（小島）制作

第38回 フォーラムくまがや2017のお知らせ



花田　景子　氏

元フジテレビアナウンサー。1995年に現・貴乃花親方と結婚。現在「貴乃花部屋」の女将として、また母として多忙な日々を送る。貴乃花親方の「軸のぶれない健康な生きかた～シコア」の考えを基にした、美しく生きる女性のためのサロン『シコアサロン』主宰、『河野景子のことばのアカデミー』校長。

★講演　**花田　景子**（貴乃花部屋　女将）
『今　求められている言葉の力
～男(ひと)と女(ひと)、より良い関係のため～』

★チアダンスステージ（オープニング）
「ハニービーズ」「Rapora Vita」

★第12回熊谷市男女共同参画推進表彰

11月25日(土)
・午後１時から(入場無料)
・江南総合文化会館ピピア
（熊谷市千代325番地１）

＊手話通訳あり
＊託児あり（２歳以上の未就学児/要予約）
※未就学児の入場は不可

主催：熊谷市・熊谷市男女共同参画審議会
共催：くまがや共同参画を進める会



「ハニービーズ」

【入場申込み】 電話･FAX又はEメールで下記へ氏名･住所･電話番号･入場人数をご連絡ください。
＊先着順に入場整理券を郵送します。(定員799人)
＜固定席403席・可動席396席＞
＊男女共同参画室・本庁舎（市民活動推進課）・各行政センター（地域振興係）の窓口でお申込みの際は、入場整理券を直接お渡しします。

熊谷市男女共同参画推進センター「ハートピア」
電　話：048-599-0011　FAX：048-599-0012
Eメール：市ホームページをご覧ください。

特集

熊谷市男女共同参画推進センター「ハートピア」ってどんなとこ？

情報紙「ひまわり」では、これまで男女共同参画に関するいろいろなテーマを取り上げてきました。

今回は原点に立ち返り、男女共同参画推進の活動拠点「ハートピア」をご紹介します。

どこにあって、何をしているの、何ができるの？

ニャオざねも、特別編集員として取材に協力してくれました！

男女共同参画社会とは

みなさんは、「男女共同参画」という言葉を知っていますか。最近はニュースなどで耳にする機会が増え、聞いたことがあるという人も多いかと思います。

では、「参加」と「参画」、この違いはご存知でしょうか。「参加」は、単に集まりに加わることですが、「参画」とは、計画段階からかかわることを意味します。

「男女共同参画社会」とは、男女が互いにその人権を尊重し、責任を分かち合い、性別にかかわりなく、その個性と能力を十分に発揮することのできる社会をいいます。

しかしながら、性別による固定的な役割分担に基づく意識や社会慣行は依然として根強く、社会の様々なところで男女間の不公平等を感じたりすることがあります。

国では、「男女共同参画社会」の実現を、21世紀の我が国の社会を決定する最重要課題と位置付けています。

熊谷市では、平成17年10月1日に男女共同参画推進条例を施行するとともに、平成18年7月1日に「男女共同参画都市」を宣言し、男女共同参画社会の実現を目指しています。



熊谷市男女共同参画都市宣言

清らかな川の流れと緑豊かな自然に抱かれ
さまざまな歴史と輝かしい伝統を継承している
私たちのまち「くまがや」
私たちはこのまちを誇りとし
男女が性別を超え　世代を超え
認めあい　支えあい
社会のあらゆる分野に対等に参画し
その個性と能力を発揮し
ともに責任を担い
生き生きと暮らせるまちをめざして
ここに熊谷市を
「男女共同参画都市」とすることを宣言します

男女共同参画室長へ直撃インタビュー！

今年4月から熊谷市男女共同参画室に着任した橋本裕美室長に、ニャオざねと一緒にお話を伺いました。



Q 男女共同参画推進センター「ハートピア」の役割とは？

ハートピアには、4人の職員、2人の女性相談員がおり、市民の皆さんに男女共同参画を理解してもらうための啓発活動や、市民や事業者の男女共同参画への取組を支援しています。啓発活動の一環として、様々なテーマのセミナーやフォーラムを開催しています。生き方、働き方のヒントを得たり、学びの場としていただけたらと思います。また、情報スペースは、いつでも開放しています。ティアラ21の4階ですから、どんな所か立ち寄ってみてください。

Q 特に力を入れていることは？

ハートピア相談室です。主にDVの相談を受けています。依然として暴力の被害者の多くは女性です。熊谷市は埼玉県内の同規模の市に比べると相談件数は多くありません。被害にあっている人が本当に少ないのならよいのですが、相談室の存在を知らなくて、一人で悩んでいる方がいるかもしれません。市役所ではなく、ティアラ21にあるので人目を気にすることなく、相談できます。DVで悩んでいる方、どんな小さな事でも気軽に相談してくださいね。

Q 室長から一言お願いします。

「女のくせに生意気だ。」「会長さんは男の人にやってもらわないと。」など、性別による固定的な役割分担意識に基づく慣習やしきたり、暗黙の抑制ってありますよね。そういう意識がなくなるのが理想です。一人ひとりが能力を発揮でき、性別だけで生き方や考え方を押しつけることなく、「女性にとっても、男性にとっても生きやすい社会」を目指して、皆さんと一緒に考えていきたい。ハートピアは、その拠点でありたいと願っています。

もしかしてDVと感じたら…

ハートピアでは、DVの相談をお受けしています。

配偶者や恋人など親密な関係にある人からの暴力（DV）に悩んでいる方、自分が我慢すればと思わずに、まずはご相談ください。相談することにより、あなたの中で問題が整理され、解決のきっかけがつかめるかもしれません。どんな小さなことでもあなたの希望を聞きながら、相談員が一緒に考えます。秘密は守られます。匿名でもお受けしていますので、まずはお電話ください。

◆ハートピア相談室
☎048-599-0015

相談名	相談日	時間
電話相談・面接相談（予約不要）	月～金曜日、第1・第3土曜日（祝日、年末年始を除く）	9:00～17:15
弁護士による相談（要予約）	隔月1回（奇数月）	10:10～11:40
臨床心理士による相談（要予約）	毎月1回（第4金曜日）（祝日の場合は変更）	9:00～16:00
保健師による相談（要予約）	毎月2回（第2・第3水曜日）（祝日を除く）	13:30～15:30

（各相談とも無料・秘密厳守）

パープルリボンキャンペーン

国際的な女性に対する暴力根絶運動のシンボルであるパープルリボン。毎年、11月12～25日を「女性に対する暴力をなくす運動」期間とし、各地で様々なイベントや活動が行われています。

埼玉県でも毎年タペストリーを作成し、パープルリボンキャンペーンに参加している市町村をこのタペストリーが巡回します。今年も熊谷市は参加し、10月にハートピアで行う予定となっていますので、皆さんもぜひご参加ください。



セミナー案内

ハートピアでは、セミナーを開催しています。

◉男女共同参画に関する各種セミナー
◉パートタイム労働セミナー（求職者に対する就職支援）
◉再就職準備セミナー（もう一度働きたい女性のため）
など

ハートピア以外の場所でも男女共同参画室主催のセミナーを開催していますので、ぜひ市報等をご覧いただき、ご参加ください。

図書貸し出してます

男女共同参画に関する図書を中心に、約1,200冊の本が所蔵されています。

1回に10冊まで、2週間借りることができます。



情報・交流スペース

本棚にある本・雑誌・行政資料等を閲覧することができます。

ミーティング、情報交換、交流の場としてもご利用いただけます。



会議室

男女共同参画社会の実現に向け、様々な視点からセミナー等を開催しています。

また、個人・団体・企業が、研修、会議等でご利用になれます。

利用開始日の3か月前から受け付けます。申請方法等につきましては、お問い合わせください。



会議室使用料

		市内の方	市外の方
定員		24人	
午前	9:00～12:00	￥1,500	￥2,250
午後	13:00～17:00	￥1,900	￥2,850
夜間	18:00～21:30	￥2,200	￥3,300
全日	9:00～21:30	￥5,100	￥7,650

※営業的行為で利用する場合の使用料は、市外の方と同料金になります。

熊谷市男女共同参画推進センター「ハートピア」も今年で13年目

男女共同参画社会の実現を市民の皆様と一緒に目指していく拠点施設として、平成17年4月1日、熊谷駅直結のティアラ21の4階にオープンしました。

今後とも、皆様に愛される施設を目指してまいりますので、お気軽にお立ち寄りください。

輝いてます！

街で出会ったいきいきさんをご紹介します



ふかほり ひでこ
深堀 秀子さん
（久下）

好奇心いっぱい川柳で楽しく

熊谷市川柳協会（会員29名）初の女性会長の深堀秀子さんは、10月15日(日)、熊谷文化創造館さくらめいとで開催される熊谷市文化祭第十二回熊谷川柳大会の準備に余念がありません。

今はブームというのでしょうか。新聞や雑誌、ラジオやテレビ番組でも川柳のコーナーが設けられ人気があります。川柳とは、人間諷詠。俳句とは異なり季語や切れ字を使わず、口語体で詠む五七五の短詩です。

深堀さんの最近のお気に入りの句は「原石の君をダイヤに磨き上げ」。素敵ですね。「一読明快が川柳の命。おしゃれで、じーんと胸にひびき、心を大きく揺さぶる川柳が好きです。そんな余韻を感じられる句を作れたら嬉しいけど、それがなかなか上手くできないのよ。」と朗らかに笑う深堀さん。

川柳との出会いは、還暦という人生の節目を迎えたときに、何か自分で楽しめることを始めたいと考え、自宅の庭いじりを思い立ちオープンガーデンに参加し、そこから人とのつながりで中央公民館の「川柳初心者講座」を受講。「ご縁があったのね。楽しみは、月に一度開かれる川柳の勉強会で皆さんに会うことと、近隣の地区で開催される川柳大会へ参加すること。生来の読書好きと好奇心旺盛な性格がプラスになったのかしら。間口が広く奥行きのある川柳は、生活をより豊かに楽しくしてくれる生涯の友ですね。」と明るく話してくれました。

みなさんも日々の暮らしを川柳にして、楽しんでみてはいかがでしょうか。



深堀さんの作品

「くまがや共同参画を進める会」に加入しませんか？

「くまがや共同参画を進める会」は、男女が共に基本的人権を尊重し、共にあらゆる分野に参画し、共に責任を担う社会づくりに向けて活動しています。

加入団体は男女を問わず、NPO法人から趣味の団体まで様々です。個人でも加入が可能です。現在20団体、1個人、合計約1600人の会員が在籍しています。

主な活動としては、「フォーラムくまがや」の共催、研修会、講演会等を開催しており、会員皆で楽しく活動しています。昨年は、6月に内閣府が主催する「男女共同参画社会づくりに向けての全国会議」の視察研修を、2月に家族に関する映画を鑑賞し意見交換会を行いました。

今年も全国会議の視察研修に行き、その他にも様々な活動を予定しています。

ぜひ、一緒に活動してみませんか。

事務局　男女共同参画室
☎048-599-0011





「ひまわり」
田原 裕二さん（船木台）撮影

◆「ひまわり」編集員 公募のお知らせ

本紙「女(ひと)と男(ひと)の情報紙ひまわり」の編集員を募集します。

募集人員　1人

応募資格　市内在住の20歳以上の方で、男女共同参画に関心があり、左記の活動ができる方

活動内容　①編集員会議（毎号3回・平日の午前中）②取材活動(随時)　③原稿の作成

委嘱期間　2年間

応募方法　応募動機と男女共同参画の推進に向けた考えを800字以内にまとめ、住所・氏名・生年月日・職業・電話番号を明記し、10月13日(金)までに熊谷市男女共同参画推進センター「ハートピア」へ直接ご提出ください。

◆◆◆ 募集 ◆◆◆

★表紙やカットとして掲載する「ひまわり」の絵・写真・その他の作品を募集します。

★「輝いてます！」（市内で活躍されている方の紹介）のコーナーに登場してくださる方を募集しています（自薦・他薦は問いません）。

※両募集とも、応募多数等により掲載にならない場合がありますが、どうぞご了承ください。

★本紙へのご意見、ご感想をお寄せください。

【応募・問い合わせ】

〒360-0037
熊谷市筑波二丁目202番地ティアラ21（4階）
熊谷市男女共同参画推進センター「ハートピア」
・TEL 048-599-0011
・FAX 048-599-0012

編集後記

夏生まれの私が一番好きな花「ひまわり」。この情報紙編集に参加し、ますます思い入れが深くなりました。　松﨑　恵子

「ひまわり」の編集会議もハートピアの交流スペースで行っています。沢山の本があって、勉強になります。　秋元　留美子

川柳で言いたい放題。「親の顔欠点ばかり持って出る」お金をかけずに、楽しくストレス解消になりそうですね。　清水　治美

春から新職場です。「お母さんなら大丈夫。小池さんだって頑張ってるしね」家族の言葉です。そうか、男女共同参画、年齢ではないのですね。　柴生田　幸子

このひまわりの発行に関わった事で題材の選定や編集、発行までの楽しさ難しさを体感することが出来ました。　新井　祐助

■発行日　平成29年９月１日（年２回発行）　■発行　熊谷市　■編集　男女共同参画室（ハートピア内）・「ひまわり」編集員会
「ひまわり」Vol.24は、71,000部作成し、印刷・製本にかかる市の負担は、１部当たり4.52円です。
PRINTED WITH SOY INK 環境にやさしい大豆インキ